

海外安全対策情報（2016年10月～12月）

1 社会・治安情勢

マケレレ大学でストライキや暴力が発生して治安部隊が多数展開する結果となり、同大学が無期限に閉鎖されました。ムセベニ大統領は11月1日、「人と財産の安全を保障するため」ウガンダ憲法に基づく大統領権限を駆使してマケレレ大学を「今から当分の間」閉鎖することを決めたと発表しました。同大学は1日、戦場と化し、授業が行われることを要求する学生による暴力的なストライキを鎮圧するため、軍と警察の装甲車や催涙ガス発車用のトラックが配備されました。

西部カセセ県で、警察・UPDF（人民防衛軍）とルウェンズルル王国部族兵の間で大規模な衝突が発生し、警察官16名を含む100名余りが死亡する戦闘が発生しました。その後、ウガンダ政府は部族兵149名を逮捕したと発表しました。

2 一般犯罪・凶悪犯罪

（1）盗難・強盗事件

ア 邦人被害事案

○11月、車両利用中、信号待ちをしていた際に、窓から手を入れられスマートホンを盗まれた。また、同様に信号待ちをしていた際に、車両のサイドミラーを盗まれる事案が発生しました。

○12月、邦人宅を襲った住居侵入事案が3件発生。深夜就寝中に侵入され、現金・貴重品を盗まれる事案が発生しました。

バイクタクシーを利用中に、後ろから来た別のバイク搭乗者に肩掛けの鞆を取られそうになり、転倒する事故が発生しました。

イ 邦人以外

○カンパラ市（Kampala）

10月2日、カンパラ市で行われたカンパラ祭りで少なくとも219人が窃盗容疑で逮捕されました。逮捕された殆どの者は、窃盗、暴行、財布のひったくり、スリなどの軽犯罪を犯していました。

10月5日、カンパラ市では、鉄棒等を使用した犯罪が増加しております。特に雨が降っている際に、歩行者を襲い携帯電話等を盗みます。

○ムコノ県（Mukono）

10月14日、警察の発表によると、ムコノ県では犯罪が増加しています。犯罪グループは5～10人で活動しており、早朝3～5時の間に住居侵入を

行います。

(2) 殺人事件（報道された主な事件）

○リラ県 (Lira)

10月3日、1ヶ月間でボダボダ運転手（バイクタクシー）5人が殺害されバイクを盗まれる事件が発生しました。警察の発表によると、リラ県では2ヶ月間で約100台のバイクが盗まれております。

○カンパラ市 (Kampala)

11月12日、カンパラ市ルゴゴモール近くで、33歳の男性が銃で殺害されました。

12月6日、カンパラ市ナグル地区で1人の警備員が2人を侵入者と間違え射殺しました。

(3) 強姦事件

邦人が被害に遭ったとの情報には接していませんが、ウガンダにおいては強姦事件が深刻な問題となっています。また、被害者となる女性の大半が未成年者であり、近親相姦が頻繁に発生しています。

○イガンガ県 (Iganga)

10月7日、ジンジャ県の隣のイガンガ県で、仕事から帰宅中の女性が3人に強姦されました。その後、3人は逮捕され、警察情報によると彼らはUPDF兵士でした。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していません。しかし、ウガンダ政府は近隣国ソマリアの治安向上を目的にアフリカ連合ソマリアミッション (AMISOM) に自国軍を派遣し、ソマリア武装テロ組織「アル・シャバーブ」に対する掃討作戦に参加しています。このため、同組織はウガンダへの反発を強めており、しばしば当国を名指しで報復する旨発言していることから、引き続き注意する必要があります。

また、シリアやチュニジアで発生した日本人が殺害されるテロ事件をはじめ、ISIL（イラク・レバントのイスラム国）等のイスラム過激派組織又はこれらの主張に影響を受けた者によるとみられるテロが世界各地で発生しています。したがって、日本人・日本権益がテロを含む様々な事件に巻き込まれる危険があることから、このような情勢を十分に認識して、誘拐・脅迫・テロ等の不測の事態に巻き込まれることがないように、渡航情報及び報道等により最新の治安・テロ情報等の関連情報の入手に努め、日頃から危機管理意識を持つとともに状況に応じて適切で十分な安全対策を講じるよう心がけてください。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が誘拐・脅迫される事件は発生していません。しかし、ウガンダにおいては人身売買および身代金を目的とした誘拐事件が多数発生しており、邦人が巻き込まれる可能性も否定できないため、滞在中は警戒を怠ることのないよう十分注意してください。

警察の発表によると、身代金目的の誘拐事件は増加しております。10月18日6歳の女の子が学校の帰り道で誘拐され、4百万シリングの身代金を請求されました。その後、24時間後に警察により犯人は逮捕されました。

○カンパラ市 (Kampala)

10月22日、7歳の女の子と4歳の男の子が遊んでいる間に、誘拐されました。その2日後、2人の死体はカンパラ市ナンサナ地区で発見されました。警察の調査によると、殺人の目的は儀式の生贄として使用するためでした。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

対日感情が良好なこともあり、日本企業であることを理由に標的とされる可能性は低いですが、上記「テロ・爆弾事件発生状況」のとおり、テロが世界各地で発生していることを踏まえれば、日本人・日本権益がテロを含む様々な事件に巻き込まれる危険も排除できませんので、十分注意のうえ安全対策を怠らないよう努めてください。

以上